

「データを活用した課題学習の研究」

愛媛県立松山南高等学校 桑原 直幹

1 はじめに

現在、社会においてデータを活用する動きが活発にみられる。今後、生徒に必要な力として、日常生活における疑問や改善点をデータを活用して考えたり、アイデアを出し合ったりして課題解決を考える力が求められると感じる。

今年度より本校に赴任して、魅力を感じた科目が学校設定科目である「STEAM 探究」と呼ばれる授業である。この授業では、「愛媛をより良くするには」というテーマのもと、グループで対話を通して課題を発見し、データを RESAS や e-Stat などから活用し、論理的に考察し説明する力を養っている。そこで、この授業を通して、私も生徒とともにデータを活用し研究を行うことで、新たな発見や創造的なアイデアが生まれると考えこのテーマを設定した。

2 各班の研究内容

- A 鯛を増やし隊
～愛媛の鯛を全国へ届けたい～
- B 松山市の名城は見た目以上に素晴らしい！
- C 防災食をつくろう
～愛媛県の特産品を使って～
- D 愛媛の今 ～心不全と向き合う～
- E 若者に向けた空き家活用
- F 自転車ヘルメットの着用率向上
～大事な命を守るけん！～
- G 宇和海を世界に
～かまぼこ×愛媛～
- H 愛媛の観光業 今と未来の戦略
～持続可能な観光業がしたいんよ！～
- I 愛媛の水産業のいま
～養殖で愛媛の水産業界を豊かにしよう！～
- J 「今日、愛媛好きになりました。」
～里芋編～
- K 愛媛のキウイ
～ミカンと並ぶ特産に～
- L 愛媛でしか買えない
～東京ケーキで地域活性化～
- M SNSで愛媛をバズらせよう
～SNSと観光の関連を考える～



図1 生徒が作成したポスター

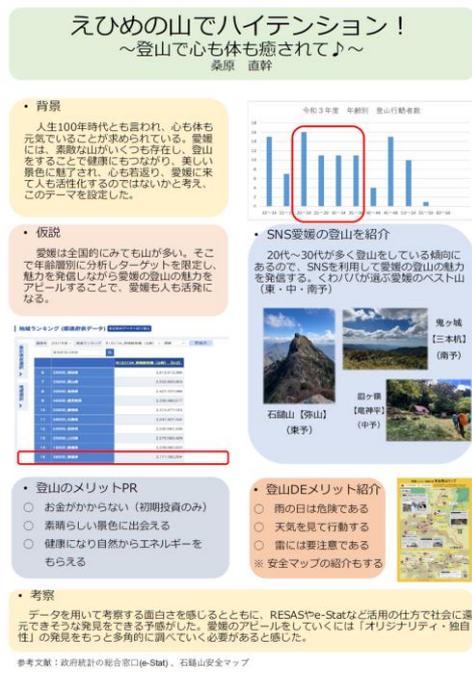


図2 私が作成したポスター

3 各班によるプレゼン

それぞれが作成したポスターをもとに発表を行った。聞く側の生徒は評価用紙を記入する。評価用紙は次のような観点のみてもらうことにした。

- ① プレゼン力
- ② データを上手に活用できているか。
- ③ 独自性があるか。



写真1 発表の様子



写真2 質疑応答の様子

4 生徒による感想

・授業などでは問題を解いて答えを出すという流れが一般的であるが、この STEAM 探究ではこれといった正解が用意されているわけでもなく、問題を自分たちで発見しデータを利用して解決を考えるという体験したことがない授業であった。話し合いながら自分たちで考えたアイデアを元にポスターも作成でき、主体的に授業に臨むことができた。

・各班とも、愛媛の魅力を多面的に捉えることができている興味深かった。

・資料作りで、自分たちが求めている資料を RESAS や e-Stat から入手することが非常に難しかった。

・ポスターが完成するか不安で仕方なかったが、仕上がると班で発表することが楽しみになっていた。それだけに苦労した甲斐があり、皆に発表を聞いてもらいたい気持ちでプレゼンすることができた。

・調べれば調べるほど、目標が複数出てまとまりのないポスターになってしまった。目標を絞り項目をグループ化することで分かりやすいプレゼンになると助言をいただいたので改善していきたい。

5 まとめ

4月から始まった STEAM 探究の授業で、生徒はデータを活用するために講義などを受け、この課題作成に取り組んだ。生徒も私もデータを上手に活用してポスターを作成することができるか不安でしかなかった。しかし、「地元の愛媛を活性化させるにはどうすればいいか」をグループで話し合い、時間をかけ勉強することで各班ともプレゼンできるほど上手くまとめることができていた。

またプレゼンの際には、質疑応答も活発であり「それはどの年齢層を対象にターゲットを絞っていますか?」「新しいブランドを開発するのはどうですか?」「実際に訪問してインタビューして声を聴くことも大事だと思います。」などと、研究したクラスの生徒だからこそ質問も出てきて、積極的に話し合うことができていた。また、先輩教員にも同席をしていただき、多くの助言をいただけたので、それらを元に生徒も参考にしながら今後も研究を進めていけるだろう。

本校に赴任して、生徒の学ぶ意欲や探究心が旺盛であることに頼もしく感じる場面が多々ある。彼らと研究できる環境に感謝するとともに、今後も研究を進めていきたい。